

救急車がくるまでに みなさんができること！！

- 突然あなたの大切な家族や友人が目の前で倒れたら・・・あなたは何かができますか？
- あなたの適切な手当てがその人の命を救います。尊い命を救うため心肺蘇生法・AEDの取り扱いを身につけましょう。



大月市消防本部



心肺蘇生法の手順

倒れている人（傷病者）を
発見したら



① 周囲の確認

あわてずに、周囲の安全を確認してから近づく
(落下物・通行車両・ガス漏れ・漏電の二次災害の危険性の有無)



周囲の状況よし



落下物等なし

安全が確認できたら近づき

②意識の確認

肩を(かるく)たたいたり(両手で)、大声で呼びかけ何らかの応答や目的のある仕草がなければ【反応なし・意識なし】とみなす。



もしもし！
大丈夫ですか？

③通報・助けを呼ぶ

反応がなければ、大声で助けを求め誰かが来たら**119番通報**と**AED**の手配を依頼し
自らは心肺蘇生を継続します。

人が倒れています。
誰か来てください！



そこのあなた！この方の意識
がありません。すぐに119番
通報とAEDを手配して下さい。



④呼吸があるか調べる

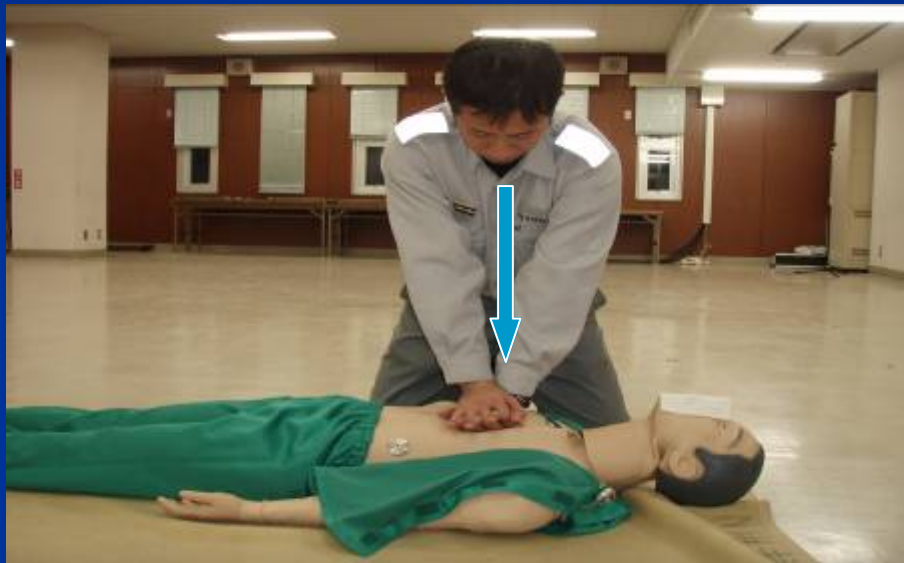
正常な呼吸や、普段通りの呼吸をしているかどうかの確認を行うために、腹部や胸部に動きがあるかどうか神経を集中して10秒以内に観察する。

呼吸の確認！
胸部・腹部の動きを確認します。



呼吸がなかったら⑤胸骨圧迫

- 呼吸がなければ直ちに胸骨圧迫を開始し圧迫位置は胸の真ん中に手を置き、胸骨圧迫を開始する



圧迫部位
手首に近い場所で
圧迫する。

- 1分間に少なくとも100回のテンポで30回連続して胸が5cm以上沈むまで圧迫する。

⑥人工呼吸

(口対口人工呼吸により肺に空気を送り込む)

- 胸骨圧迫を30回行ったあと、人工呼吸を2回行う。
- **気道確保**を実施し、傷病者の鼻をつまみ、口を大きく開け傷病者の口を覆い空気が漏れないよう人工呼吸を約**1秒**かけて胸の上がりが確認できる程度の量を**2回**吹き込む。



気道確保とは

(空気が鼻や口から肺に達するまでの通路を開く)

片手を額に当て、もう一方の手の人指し指と中指の2本をあご先に当てて頭を後ろにのけぞらす。



- 気道確保を行い人工呼吸を実施する。

⑦心肺蘇生法の実施

(胸骨圧迫と人工呼吸の組み合わせ)

- 胸骨圧迫**30**回と人工呼吸**2**回を交互に行う



AEDの使用手順

①AEDの電源を入れる



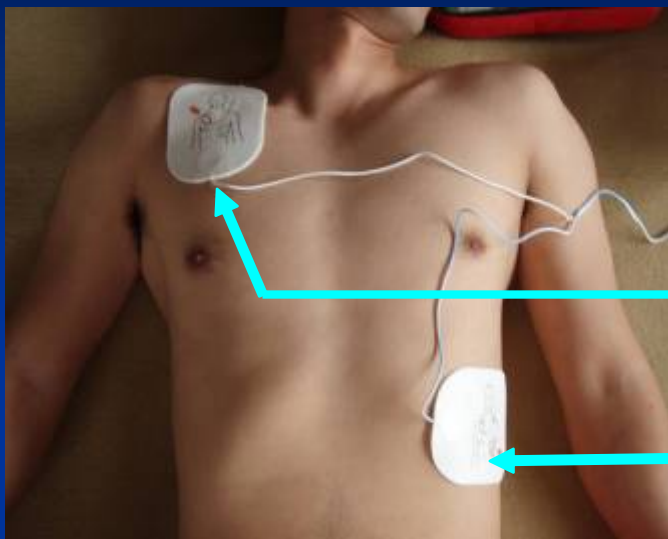
- 傷病者の近くに置き

電源を入れる。

機種によって違うことがある。ふたを開けると自動的に電源が入る機種もある。

- 電源が入ると音声の流れ指示をしてくれますので、落ち着いて音声に従ってください。

②パッドの装着



- 電源を入れるとパッドを胸に装着してくださいなどと音声がかかります。
- パッドは肌との間にすき間ができないようにしっかりと貼り付けます。
- パッドは、右前胸部(右鎖骨)および左側胸部位置に貼り付けます。
- 機種によっては、ケーブルをAED本体の差込口(点滅)に入れるものもあります。



パッドに絵で表示されています。

パッドはAEDの本体に
一緒に入っています。

③心電図の解析

心電図を解析してます。
体に触らないでください。
離れてください。



- パッドを貼り付けるとAEDから

「体に触れないで下さい。」などの音声
が流れ自動的に心電図の解析が始まりますので傷病者の周りの人が触れないように注意して下さい。

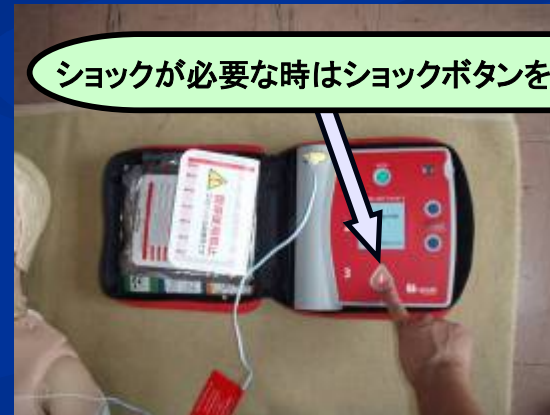
④ショック・通電

- 解析の結果、「**ショックが必要です。**」と音声 flowed たら周囲の者が傷病者に触れていないか確認し点滅しているショックボタンを押します。
ショックボタンを押す際は誰も傷病者に触っていないことを確認してから押して下さい。

ショックボタンを押します！
私よし・あなたよし・
周りよし
離れて下さい。



ショックが必要な時はショックボタンを押します。



☆その後すぐに明らかな反応がない限り心肺蘇生を開始する。

あなたも 応急手当を覚えませんか



大月市消防本部では、住民・自治会・事業所・学校関係など広く応急手当指導を実施しております。

傷病者観察要領・胸骨圧迫・人工呼吸要領などの心肺蘇生法・AEDの操作方法などを覚えられます。



お問い合わせ

大月市消防本部・消防署

22-0119 救急担当まで

大月市消防本部・小菅出張所

0428-87-0422

大月市消防本部・丹波山出張所

0428-88-0990